

第2学年国語科学習指導案

日 時 平成16年7月7日(水)5校時
児童 男子8名 女子11名 計19名
授業者 伊藤 博子

1. 単元名 すきな お話を 読もう

(光村図書 2年上)

2. 教材名 「スイミー」

3. 単元について

(1) 単元について

本単元は、「スイミー」の学習とそれをきっかけに、他のお話や絵本を読み、むねを豊かにさせること、さらに本の紹介をしようことにより、より一層読書の幅をひろげることを目指していきなり感づき、楽しくファンタジックで、しめ・倒置法・比喻など、駆使されている。また、「スイミー」の音をあ取り入れ、効果的に使ったり、言葉に気づき、感動し、喜びを味わったりする読みをおこない、お話の世界に浸るきっかけをつくる。

そしてこの学習が、後半の「スイミー」を紹介する活動や様々なお話を読むきっかけとなるように構成されている。

(2) 児童について

子供たちは、朝読書の時間には次々と本を読み、読書冊数を増やし、ていっような。その種類も様々で、読書行為そのものに抵抗がなく、むしろ意欲的である。しかし、あらすじをとらえたり、場面の様子を正確に読みとったりするところが十分にない。また、読書力ードに書かれていいる感想も、と場面の分はイメージしたり、お話の中には読んで

2年上「ふきのとう」で子供たちは書いてあることを正確に読み、場面の様子や劇で表す活動を行ってきた。正確に読む力が十分ではなかった児童も、仲間と一緒で音読の仕方や演技の仕方を考え、物語を読み取っていき、とができた。登場人物になりきって劇を行う活動はとても意欲的に進んでいた。また、「たんぼぼのちえ」では、様子を表す言葉に気をつけて読みとる学習を本教材ではページサートなど動作化を取り入れることによって、さらに家族への紹介など相手意識をしっかりとさせることにより、意欲的に学習活動に取り組ませたい。

(3) 指導にあたって

第一次、第二次では「スイミー」の物語を味わうことが学習の中心となる。ここでは言葉にとらわれ、た詳細な読みだけで終わるのではなく、ページサートなどの動作化を取り入れ、十分に物語の世界を味わわせたい。また、ここでは「おもしろい」と思ったものは何か(ストーリー、場面、様子、体言止め等音読のリズム、ページサート等の活動、等)を取り上げて、積み重ねておく。それを本を選ぶ時の視点(タイトル、挿絵等)と合わせて「本のおもしろさの要素」としておさえ、第三次、第四次の活動へつなげていき、たいと考える。また、レオ二について、第三次、第四次の活動へつなげていき、たいと考える。また、レオ二について、第三次、第四次の活動へつなげていき、たいと考える。また、レオ二について、第三次、第四次の活動へつなげていき、たいと考える。また、レオ二について、第三次、第四次の活動へつなげていき、たいと考える。

第三次では今までの学習を振り返りながら、家の人に「スイミー」を紹介をすすめる。あらすじの知らない人に紹介するという目的をしっかりとせ、書く内容を明確に書きかせるようにする。第一次、第二次のおもしろかったこと伝えさせたい。第四次では「スイミー」以外のレオ二の作品や他の作者の本など好きな本を選んで読み、おもしろいところなどを紹介させたい。また、本が面白いと思ったのか、あるいは家族への紹介文を書かせたい。この単元を通して、様々な本を読み、楽しみ、興味を育いていく。ぜひ、お話の世界をじっくりと味わうことができるようになることを期待する。

4. 単元の目標

場面の様子を想像しながら読み、お話の楽しさを味わう。
好きな絵本を探して読み、友達と紹介しあう。

5 . 単元の指導計画（学習指導計画 15 時間）

	学 習 活 動	関心・意欲・態度	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項
第一次	題名に関心をもって全文を読み，学習のめあてをもつ。					
第二次	第一場面を読み，スイミーのペープサートを作って自己紹介をする。					
	第二場面を読み，まぐろの様子と独りぼっちになったスイミーの気持ちを想像して読み方を工夫する。					
	第三場面を読み，表現のおもしろさを味わう。					
	スイミーの気持ちの変化を考える。					
	第四場面を読み，スイミーたちの気持ちを想像しながら音読のしかたを考える。					
	スイミーが考えた作戦について考え，ペープサートを使って場面の様子をあらわす。					
	解放された魚たちの気持ちを想像しながら，第五場面を読む。言葉の学習をする。					
第三次	家の人に「スイミー」を紹介する（好きな場面を選び，音読練習をする）。					
	家の人に「スイミー」を紹介する（あらすじと心に残った場面を入れて紹介文を書く）。					
	好きな場面の絵をかく。					
第四次	レオ＝レオニの作品や他の作品を読む 本時					
	紹介カードを書く					
	友達に紹介する。					

は主目標。

6 . 本時の指導

(1) 目標

レオ＝レオニの作品やほかの作品を選び，興味をもって読む。

(2) 本時の評価

・ 評価規準

読みたい本を選んで読む

具体的評価規準	A の状況の具体的姿	C の状況への手だて
読みたい絵本を選んで、最後まで読む。	自分が選んだ本のほかに、友達に紹介された本も読み、感想を話している。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 複数の本を選んで最後まで読んでいる。 ・ 「読書の記録」に、感想をくわしく書いている。（絵本のタイトル、挿絵、ストーリー、言葉など） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の薦める本や挿絵を見て、教師と一緒に探すようにする。 ・ 読み聞かせをして、本のおもしろさにふれるようにする。

(3) 展開

過程	学習活動	教師の働きかけと ・予想される児童の反応	支援上の留意点 評価
導入 5分	1 今までの学習を振り返る。 2 課題を把握する。	スイミーの勉強では、心に残った場面や好きな言葉を紹介した文を作ったね。 スイミーはレオ＝レオニという人が書いたんだね。今日はその人が書いた他の本を探してきました。	レオ＝レオニ「スイミー」は絵本であるということをおさえ、その仲間の本を読むことに気づかせたい。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">好きな絵本を探して読もう</div>			
展開 30分	3 好きな場面や好きな言葉を見つけないながら読むことがわかる。 4 自分の好きな本を選んで読む。	このタイトルの本はどんなお話でしょう。 この本は何が主人公でしょう。 スイミーの勉強では、場面の好きなところを伝え合いました。 絵でもどんなお話かわかるときがあります。 好きな言葉を見つければたすごい。 友達に教えたい本を見つけてるつもりで読んでください。 挿絵を見たり、少し読んだりして、本を選ぶといいよ。 ・声に出して読む ・指で字をおって読む ・友達におもしろいとおしえる ・シリーズで読み続ける子 ・挿絵を頼りに見る子	スイミーの勉強を想起させる 読み方のルールを確認する 好きなお話でなかったら本を替えてもよい。最後まで読んだら記録する。読み終わったら二冊目を読む。好きな本は、何度読んでもよい。 選べない児童には挿絵をみたり、始めの部分を読み聞かせたりしながら本を選ばせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 自分の気に入った本を見つけて読んでいるか [観察] </div>
まとめ 10分	5 おもしろかった本について紹介する。 6 次時の予告を聞く	好きな場面や好きなことばを見つけましたか。本に印を付けましょう。 その本の好きな場面や好きな言葉を発表してください。 おもしろかった本を友達に紹介するカードを書きます。	読書の記録をふり返りもう一度読んでみたい本に印をつける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> おもしろい本に印を付けているか。 感想の内容。 [発表・挙手] </div> 次時では、紹介したい本を見つけ、じっくり読ませ紹介文を書かせたい。